

生きている白山に学ぶ水と緑と防災

白山砂防通信



SABOは
世界の共通語

2012 8月号
VOL.25



白山砂防100周年の集い

～ 守りたい! みんなの故郷・豊かな自然 ～

(平成24年8月撮影)

「白山砂防100周年の集い」(主催:白山砂防100周年記念事業実行委員会)が平成24年8月4日に開催され、一般者や関係者約600人が歴史の節目を祝いました。

この記念式典は、白山の砂防事業が今年で100周年を迎えることから、この100年の節目に、白山砂防事業の歴史やその効果を広く県民に紹介し、砂防事業に対するご理解を深めて頂くために実施されました。

記念式典では永井隆一実行委員長のあいさつに続き、谷本正憲石川県知事が式辞を述べ、来賓の祝辞の後に、作野広昭白山市長が謝辞を述べ

ました。その後、有野充朗金沢河川国道事務所長が事業報告をし、南哲行

砂防部長が基調講演を行い、アルピニスト野口健さんが「山とともにいきる」をテーマに記念講演を行いました。

後半は美川小学校の5年生による白山砂防についての学習成果の発表や白山砂防女性特派員によるこれまでの活動報告が行われました。

屋外イベントでは、土石流体感装置や降雨体験装置、災害対策車両などが展示されました。



祝辞(国土交通副大臣:奥田建)



式辞(石川県知事:谷本正憲)



祝辞(国会議員)

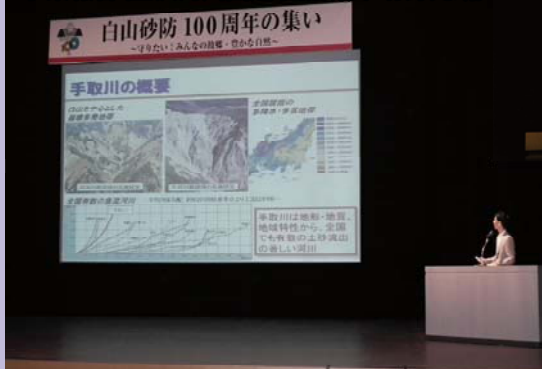


祝辞(石川県議会議員:山田憲昭)



謝辞(白山市長:作野広昭)

事業報告(金沢河川国道事務所長:有野充朗)



◇事業報告概要

白山砂防事業は、大正元年に石川県が甚之助谷・柳谷で施工を始めたことが発端となり、今年で100年を迎えます。

昭和2年からは、国による直轄砂防工事として開始され、昭和9年7月の大災害後、牛首川本川および他の荒廃溪流にも対象流域を拡大し、現在は、牛首川と尾添川の合流点を砂防基準点として、そこから上流で実施しています。ハード対策以外にも、ソフト対策として雨量計や監視カメラ、地下水位計などの機器を設置し、光ネットワークを通してリアルタイムで監視するシステムを整備しています。これらの情報は、警戒・避難などの防災に役立てて頂いています。今後も、これらハード・ソフト対策の充実を図っていききたいと報告されました。

プログラム

◇記念式典(9:30~12:30)

式 辞	石川県知事
祝 辞	来賓
謝 辞	白山市長
事業報告	金沢河川国道事務所長
基調講演	演題「国土保全と白山砂防」 南 哲行 国土交通省水管理・ 国土保全局砂防部長
記念講演	演題「山とともに生きる」 野口 健 アルピニスト
研究報告	白山市立美川小学校5年生
活動報告	白山砂防女性特派員
アトラクション	K'z dancing kids & Jr. 鶴来高校ジャズバンド部

基調講演(国土交通省 砂防部長:南哲行) 「国土保全と白山砂防」



◇基調講演概要

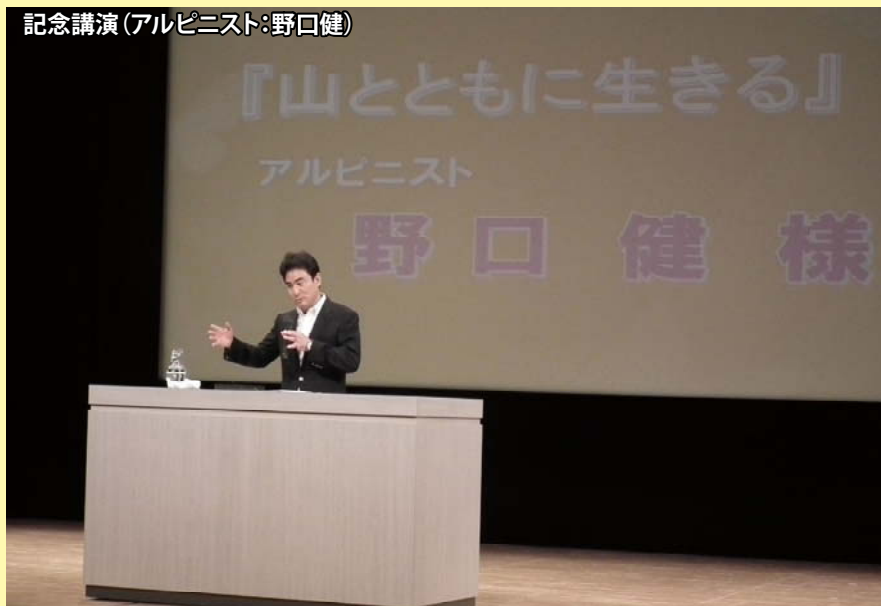
日本で土砂災害が多い理由としては険しい地形(国土面積の約7割が山地)、脆弱な地盤(可住面積の1/4が軟弱地盤)、厳しい気象条件(多雨・多雪)などのためと考えられます。これら厳しい条件下の中、変化する国土利用と災害の形態、社会的要

請に応じ、いかなる土砂災害害に対しても諦めず、挑戦し続けてきて砂防技術が発展してきました。

白山砂防においても、昭和初期の直轄化当初は人力施工で施工していたものが、近年では作業員の安全確保を目的に無人化での施工技術を開発するにまで技術が発展してきました。

今後も様々な新しい技術を積極的に活用し、土砂災害から国土と国民生活を守る目的を果たしていききたいと述べられました。

記念講演(アルピニスト:野口健)



講演では清掃登山を始めたきっかけについて、欧米の登山家に「エベレストを富士山のようにするのか」と言われたことだと話され、その後のエベレストでの清掃や富士山の清掃活動での苦労話をされました。

また、白山登山での話では、ほとんどゴミが落ちていないことに感心させられ、また、登山中の挨拶についても「ようこそ白山へ」と他の山では聞かない言葉をかけられたが、これは地元の登山者が「自分達の山へようこそ」ということであり、ゴミなどが無いよう山を守ってきたという自負と誇りであり「ようこそ」という言葉にこめられた意味に感心されるなど白山への思いを語られました。

学習成果発表(白山市立美川小学校 5年生)



国土交通省の職員の方から白山で行われている砂防事業について説明をしていただき、また、砂防工事現場についても案内していただきました。式典では、これらの学習成果についての発表が行われました。

活動報告(白山砂防女性特派員)



白山砂防女性特派員は、砂防事業の必要性を学び、一人でも多くの人に砂防事業に対して感心を持ってもらうように活動を行っています。式典では特派員の活動を通しての意見・感想と年間の活動内容が報告されました。

○砂防功労者表彰 & アトラクション



砂防功労者表彰(永吉昭、山中和之)

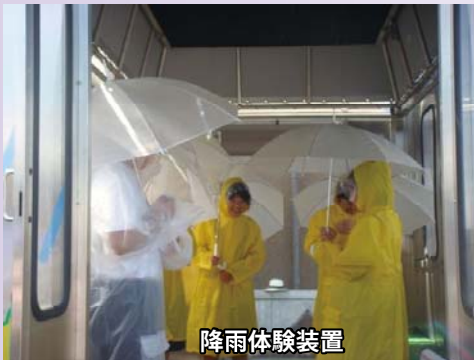


アトラクション(鶴来高校ジャズバンド部)



アトラクション(k'z dancing kids & Jr.)

○屋外体験イベント & 屋内展示コーナー



降雨体験装置



土石流体感装置



土石流模型実験装置



災害対策車両



ご当地物産展



パネル展示

○現 地 見 学 会



甚之助谷の見学



甚之助谷の見学



別当谷の見学

白山砂防科学館・見学のご案内

白山砂防科学館では見学者をお待ちしています。見学内容は、白山・手取川の災害と砂防事業の解説、映画上映で、時間は30～40分程度です。20名以上の場合には、解説と映画上映をグループ毎に交互に行います。詳しくは白山砂防科学館までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

白山砂防科学館

TEL 076-259-2990 FAX 076-259-2991

Eメール hakukan-j@po3.nsknet.or.jp

入館無料 休館日:毎週木曜日

◆ 編集・発行 ◆

国土交通省金沢河川国道事務所
流域対策課

920-8648 金沢市西念4丁目23番5号
TEL 076-264-9913 FAX 076-233-9612
Eメール kanazawa-ryutai@hrr.mlit.go.jp

「白山砂防通信」のバックナンバーは、白山砂防ホームページ (<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/hakusansabo/>) で閲覧できます。